

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施する。具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業、スリランカの子どもの対象とした教育振興事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

- ① 北海道で堆肥工場を営むA氏は北海道JICAとの連携によりモンゴルで土壌改良のための堆肥生産を実現した。今回はスリランカでの堆肥工場設立を考えている。彼の堆肥には他の堆肥には見られない特徴がある。それは、多量摂取すると人体に害を与える硝酸態窒素の分量を低く抑える点と堆肥の材料となる生ごみ、鶏糞等のおいを人が感じない程度に抑えることができる点にある。他方、スリランカでは化学肥料の無償配布による健康被害が広がり、政府もその対策に乗り出している。化学肥料の代わりに堆肥を使うように奨励し、各県の堆肥生産農家に堆肥を提供するように要請している。事実、チャミット氏の居住するケーゴール県では、昨年、75トンの提供の割り当てが通達され、彼は、25トンを供給した。今年は、チャミット氏に60トンの堆肥生産の依頼があった。このようなスリランカの社会的必要性に應えるためには、A氏の堆肥工場建設が大いに役立つ。特に、今回のA氏の堆肥生産には象の糞を用いるというユニークさがある。象を飼育している国の施設『象の孤児園』では、その糞と食べ残しの処理に困っている。1日3.5トントラック4台分が出るという。当該の工場建設を支援することはスリランカのためになるし、我々の事業目的にも適合している。チャミット氏は現地協力者であり、我々は彼が顧問をしている『ジャヤマガ青年農業者会』と協働で事業を展開している。
- ② その他（これからの相談内容による。）

<イ> スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業

(ア) 事業計画

① スバ・ランカ農園のカシューナッツ及びヤシ栽培の維持・管理

ヤシの実の収穫が始まることを期待している。現在は7本の木に実がついている。カシューナッツ栽培については60キロの実を確保したい。天候次第である。

② 希少魚類保護のためのトイレ建設

『あいちモリコロ基金』からの助成金を基に、希少魚類バンドゥラ・ペティヤーの保護のために、川沿岸に汚水処理付きトイレを建設し、環境教育の充実を図る。環境教育DVDを持参し、シンハラ語とタミル語の字幕を付ける。また、日本から大学生を招へいしてトイレ建設に関わってもらい、スリランカ農山村の環境保全について理解を深めてもらう。さらに、東海3県の環境保全活動団体の環境教育専門家をつらね、スリランカに招き、現地の保護活動団体の役員との協議の場を設ける。

③ 牛乳生産協同組合によるアイスクリーム製造

平成28年1月から、ククルパネー・アルピティヤ・ワールハッラ牛乳生産者協同組合はヨーグルト製造を始めたが、平成29年6月頃から『アジア生協協力基金』からの助成金をもとに、アイスクリーム製造を開始する。輸送用のトラックについては、保冷車をリースで買うように助言する。

(イ) 支出 611,000円

① 400,000ルピー≒308,000円

内訳) 農園管理者給料 300,000ルピー、維持費60,000ルピー、臨時雇用等40,000ルピー

② 860,000円

内訳) 東海3県の環境保全活動団体の環境教育専門家指導料：100,000円

東海3県の環境保全活動団体の環境教育専門家の航空運賃及び滞在費（5日間）130,000円

大学生ボランティアツアー航空運賃補助（5人分）100,000円

スバ・ランカ協会理事の航空運賃 80,000円

東海3県環境保全活動団体の環境教育専門家の空港送迎車両賃料：20,000円

トイレ2基及び汚水処理施設建設費：237,391円（273,000ルピー）+60,435円（69,500ルピー）

シンハラ語&タミル語翻訳費用：52,174円（60,000ルピー）

③ 900,000円

内訳) アイスクリーム製造機械（Rainbow BQL920）217,000円 輸送用トラック553,000円

貸付原資 73,000円 協会会長旅費交通費57,000円

(ウ) 収益 611,000円

- ① 195,000円 内訳) カシューナッツの販売180,000円、新規オーナー3名15,000円
不足分: 113,000円 (寄付金を求める。)
- ② 750,000円 内訳) あいちモリコロ基金からの助成金 不足分: 110,000円 (上記予算の削減)
- ③ 900,000円 内訳) アジア生協協力基金からの助成金

<ウ> スリランカの子どもの対象とした教育振興事業

(ア) 事業計画

- ① ガラピタマダ地方の小学校における汚水処理付きトイレ建設
『東南アジアに学校を造る会』(延命寺と宝珠寺)の助成金を基にガラピタマダ地方の小学校において、汚水処理付きトイレ2基を建設する。
- ② タミル&シンハラ児童の合同課外授業
ガラピタマダ地方アルピティア村のゴム園のインドタミル小学校とシンハラ中学校の生徒の合同課外授業を行う。これはインド・タミル児童には中学校・高等学校への進学を動機付けるための授業であり、インドタミルとシンハラの児童がともに環境を守るという共通の課題に立ち向かうように動機づける授業でもある。異民族の児童が一堂に会し、共通の目的を持つことは真の民族共生につながると思われる。元大統領チャンドゥリカ夫人も民族融和を進めるNGO活動を展開しており、我々の活動を評価してくれている。
- ③ ボランティア日本人日本語教師の招へい
平成26年度にガラピタマダ地方アルピティア村のチャミット宅に開設したスバ・ランカ日本語研修センターにボランティア日本人日本語教師を招き、日本語クラスの充実を図りたい。
- ④ 日本語辞書&日本語教育教材の贈呈
中高等学校、大学、日本語私塾(日本語センター)において日本語を学ぶ生徒・学生に、和英・英和辞典、電子辞書を贈呈する。また、スリランカの若い日本語教師たちに贈呈するために日本語教材と日本語能力試験問題集などを贈呈する。そのためにネットを通して、中古品の寄贈を呼びかける。

(イ) 支出 円

- ① 337,500ルピー≒280,000円 内訳) 建設資材163,500ルピー 労賃136,000ルピー
輸送費21,000ルピー その他17,000ルピー
- ② 160,000ルピー≒123,077円 内訳) 交通費 30,000ルピー 講師謝金40,000ルピー、物品
購入費 40,000ルピー 通訳費 20,000ルピー 飲食費 30,000ルピー
- ③ 5,000円 内訳) 通信費 5,000円) ④ 50,000円 内訳) 輸送郵送費 50,000円

(ウ) 収益 165,351円

- ① 280,000円 内訳) 『東南アジアに学校を造る会』からの助成金 280,000円
- ② 0円 不足分: 160,000ルピー≒123,077円 (チャミットからの還元金を充てる。)
- ③ 0円 不足分: 5,000円 (会費を充てる。)
- ④⑤ 0円 不足分: 50,000円 (会費&寄付金を充てる。)

<エ> 日本とスリランカ両国の相互交流推進事業およびボランティア支援事業

(ア) 事業計画

- ① ボランティア親善旅行2017
「シンハラ語を学んでスリランカに行こう」というボランティア親善旅行を行う。ガラピタマダ地方のゴム園インドタミル小学校とスバ・ランカ日本語研修センターの生徒と交流し、文房具を贈呈し、日本舞踊、民謡、書道、盆踊りなどの日本文化を紹介する。また、世界遺産5か所に訪れる。10月4日の出発予定。人数が集まらなければ中止。
- ② 大学生ボランティアツアー2017
会員のK氏が企画する「大学生ボランティアツアー」を後援する。このツアーは愛知県の大学生がスリランカの農山村における希少魚類の保護活動の一環として行うトイレ建設作業に参加するように呼び掛ける企画である。(ア)の②を参照のこと。

(イ) 支出 110,000円

- ① 5,000円 内訳) 通信費 5,000円) ② 100,000円 内訳: ツアー参加費用の一部を補助

(ウ) 収益 0円

- ① 0円 内訳) 参加者からの寄付金5,000円
- ② 100,000円 内訳) 100,000円 (あいちモリコロ基金からの助成金)

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア) 事業計画

スリランカ紅茶局のティーバッグとスバ・ランカ農園のカシューナッツを希望者に随時配布する。

(イ) 支出 63,000円

63,000円 内訳) 物産購入・加工費23,000円(紅茶購入15,000円 カシューナッツの殻除去及び乾燥加工 8,000円)、郵送費 40,000円

(ウ) 収益 50,000円

50,000円 内訳) カシューナッツの随時販売 50,000円 不足分: 13,000円(寄付金で賄う。)

<カ> スリランカを紹介する広報啓発事業

(ア) 事業計画

- ① シンハラ語入門・初級講座を開講する。名古屋教室20回(新海啓一さん)、岡崎教室10回(大岩)
- ② スリランカ・カレー教室を開催する。6月18日碧南、名古屋と岡崎でも開催する予定です。
- ③ スリランカ・シンハラ語の会(会長新海啓一)が主催するシンハラ語入門、初級検定を後援する。

(イ) 支出 185,000円

- ① 120,000円 (内訳) 施設使用料68,000円、教材印刷代金 30,000円、交通費 22,000円
- ② 28,000円 (内訳) 施設使用料 5,000円 材料費16,000円 通信費1000円 交通費6,000円
- ③ 18,000円 (内訳) 施設使用料 4,800円、印刷代金 5,200円 通信費 8,000円、交通費2,000円

(ウ) 収益 185,000円

- ① 120,000円 内訳) 受講料 120,000円) ② 28,000円 内訳) 受講料 28,000円)
- ③ 18,000円 内訳) 検定料 18,000円)